

官庁営繕事業

平成30年度		新規事業採択時評価			
事業名(箇所名)	瀬棚海上保安署	担当課	官庁営繕部計画課	事業主体	国土交通省 北海道開発局
		担当課長名	秋月 聡二郎		
実施箇所	北海道久遠郡せたな町瀬棚区南川176番地				
事業諸元	・敷地: 2,080 m ² ・構造: 鉄筋コンクリート造 地上2階 ・規模: 919 m ²				
事業期間	事業採択	平成 31 年度	完了	平成 33 年度	
総事業費(億円)	6.1				
計画概要	<解決すべき課題・背景> 瀬棚海上保安署は、築後48年が経過し、施設の老朽化による不具合が生じていることに加え、業務量の増大や海上保安体制強化に伴う複数クルー制の導入により、庁舎の狭隘化が進行している。また、現敷地は津波による浸水が想定される地域に位置しており、災害時における応急対策活動に支障をきたす恐れがある。地域防災拠点の高台への集約化と、津波浸水被害等の解消を図るため、高台敷地に瀬棚海上保安署庁舎を整備するものである。				
	<政策体系上の位置付け> ・政策目標: 官庁施設の利便性、安全性の向上 ・施策目標: 環境等に配慮した便利で安全な官庁施設の整備・保全を推進する				
事業計画の必要性	評点	必要性の主な根拠			
	119点	・既存庁舎の老朽、狭あい、防災機能に係る施設の不備及び施設の不備の解消			
事業計画の合理性	評点	合理性の主な根拠			
	100点	同等の性能を確保できる他の案との経済比較を行った際に、事業案の方が経済的であると評価される。			
	代替案との経済比較				
	C' - C	0.7	基準年度: 平成31年度		
		C' : 代替案の総費用(LCC)(億円)	7.9		
		C : 事業案の総費用(LCC)(億円)	7.2		
事業計画の効果	評点	効果の主な根拠			
	110点	業務を行うための基本機能(B1)に関し、 ・自然条件からみて災害防止・環境保全上良好な状態である。			
	施策に基づく付加機能(B2)の発揮見込み				
	評価項目	評価	主な取り組み		
	社会性(地域性)	B	・隣接する瀬棚防災ステーション(国)との防災連携		
	環境保全性(環境保全性)	A	・事務室等への照明制御の導入による省エネ化 ・太陽光発電による自然エネルギーの有効活用 ・外断熱工法の採用 ・高性能ガラスの採用		
	環境保全性(木材利用促進)	A	・内装の木質化 ・車庫・自転車置場の木造化		
機能性(ユニバーサルデザイン)	B	・建築物移動等円滑化誘導基準を満たす計画である			
機能性(防災性)	C	・官庁施設の総合耐震・対津波計画基準に基づいた取組がなされているほか、防災に関する一般的な取組が行われている。			
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 新規事業化については、妥当である。				

施設名： 瀬棚海上保安署

事業場所： 北海道久遠郡せたな町

概要図
(位置図)

